

# 資料 3

## 資料案について（整理の方向性）

### 社会・文化

章・節等		企画編集部会からの意見		整理の方向性
2 章	農漁村・炭鉱の生活の変化	【炭鉱の生活】	生活に関する資料が不足しているほか、地域の偏りなどが気になる	現在、担当委員が調査を進めているところである。
5 章	社会運動	【女性の人権をもとめる団体活動】	例えば、第2節（2）で2000年代の資料がでたあと、第3節で高度成長期に戻るなど、掲載する資料の年代があまりにも前後しすぎているため、構成を練り直してはどうか	現在、担当委員が構成を再検討しているところである。
7 章	宗教		比較的新しい時期の新聞記事（朝日新聞）は、できるだけ使用を避けていただきたい	資料の差し替えの可否について検討する。
9 章	地域からの情報発信		内陸の都市を拠点とする北海タイムス(戦後に道新から旧北海タイムス派が分かれて創刊、札幌市)や十勝毎日新聞(帯広市)についても、何らかの形で触れおくべきではないか。	担当委員が検討しているところである。
10 章	食住の変化	【食文化】	今後、解説を付す際には、なぜこれらの資料を選んだのかについて、例えば、「戦後に新たに誕生した食文化を中心にとりあげた」というような文言を挿入すると、読者に親切ではないか	意見があったことについて、担当委員へ伝える。
		【住文化】	掲載予定資料の大半は、田中知事の発言を中心に殆ど同一内容の繰り返しではないか。例えば田中知事の伝記から引用した「羽深・一」資料は、敢えて掲載する必要があるのだろうか	資料の差し替えの可否について検討する。
			刊行物が出典となっている資料が多いのではないか	資料の差し替えの可否について検討する。
11 章	美術・文学	【美術】	美術の歴史を、経済の段階によって区分している点が気になった	時代の区分方法について検討する。
		【文学】	今後、解説を付す際には、なぜ同人誌を中心として取り上げ方をしたのかということの説明を挿入すると、読者に親切ではないか	意見があったことについて、担当委員へ伝える。
13 章	アイヌの人びとの生活		編さん委員会で指摘された北海道とアイヌの歴史が関わっているという部分について、検討する必要がある	北海道とアイヌの歴史の関わりが分かる資料について、担当委員と相談中である。

## 教 育

章・節等		企画編集部会からの意見	整理の方向性
1 章	占領下の教育改革	資料の数が多分、資料一つ一つのボリュームを抑えてページ数を調整している。長い資料を掲載している章とのバランスはどうか。	「資料編3」全体を見て、今後、調整を検討する
3 章	教育政治・教育運動	「北教組との協定書」1点のみとなっている。	資料の追加について検討中である。また、第8章第1節と統合する方向で検討する。
5 章	高等学校	学区等に関する資料にとどまっており、第4章「小学校・中学校」と比較して、教育活動に関する資料がない。	新制高校での生徒会活動に関する資料を追加する予定である。他にも教育活動に関する資料の追加を検討中である。
8 章	教育問題・教育運動	第1節 教育問題・教育運動	第3章と内容が重なっていないか。
		第2節 高等専門学校	昭和50年代の新聞記事は、他の資料への差し替えできないか。
		第2節 高等専門学校	高等専門学校の部分は、第9章「大学・短大」とまとめてはどうか。
9 章	大学・短大	第8章第2節の高等専門学校の部分は第9章に統合してはどうか	統合を検討する
10 章	職業教育	公共職業訓練の資料として、論文に引用された表を掲出しているが、このような資料の選定は妥当なのか。	資料の差し替えなどについて検討する
14 章	アイヌと教育	編さん委員会で指摘された北海道とアイヌの歴史が関わっているという部分について、検討する必要がある	北海道とアイヌの歴史の関わりが分かる資料について、担当委員と相談中である。